

平成21年度

取扱注意

# 授業改善推進プラン【小学校】

- ①平成21年度北区立小学校学力向上を図るための全体計画
- ②平成21年度第2学年・第3学年・第4学年・第5学年・第6学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析
- ③現第6学年 平成20年度第5学年「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(東京都教育委員会)結果の観点別の分析
- ④指導方法の課題分析と具体的な授業改善案 4教科

東京都北区立滝野川第六小学校

平成21年度「北区基礎・基本の定着度調査」を受けての各教科の分析	
国語	○学年により、個々人により傾向が異なるが、感心・意欲・態度は概ね良好と言える。 ○学年が進むに従い、読む・書く能力の個人差が大きくなっていく。感心・意欲を学習にどう結びつけていくかが課題である。
社会	○多くの点で区の平均を上回っているが、資料を参照・活用する場面で課題がある。 ○警察の活動や日本の農業について、理解が不足している。
算数	○数学的な考え方について、不十分な学年が多い。 ○計算・図形・時計・分数など、学年毎に問題点異なるので担任による分析・対応が必要である。
理科	○観察・実験に興味をもち、「電気のはたらき」や「もののとけかた」などは十分に理解している。 ○自然事象への関心・意欲が高くなく、そのためか「流れる水の働き」や「月と星」など理解の未熟な分野がある。

本校の教育目標
○やさしい子 かんがえる子 つよい子
「六本の思いをむねにはばたこう」
「自主」「正義」「友愛」「英知」「礼節」 「鍛錬」

本校が児童に育成したい力
○「六本の思いをむねにはばたこう」をキャッチフレーズとし、「自主」「正義」「友愛」「英知」「礼節」「鍛錬」の面で心身を育てていく。
○「かんがえる子」に重点をおき、自主的に学習に取り組む姿勢を育て、基礎・基本の確実な定着をはかる
○「読む力」、「聞く力」、「計算する力」の育成を重視した年間の学習活動の取り組みを通して基礎・基本の確実な定着、生きる力の育成を図る
○「自分の考えをもち、伝え合い、学び合う子ども」を校内研究のテーマとし、コミュニケーション能力を高める。

学力向上にかかわる経営方針
○全校算数タイム・少人数指導・全校読書タイムなどの場を設定し、基礎基本の確実な定着を図る。
○授業の中で「自分の考え」をもち、伝え合い、学び合う時間を十分に確保する。
○体験的活動を積極的に取り入れる。
○児童が取り組む内容を数値化するなど、指導方法や指導体制及び評価方法を工夫・改善し、「見える教育」を推進する。

校内における学力向上推進体制
○校内組織として、企画委員会を学力向上委員会とし、本校児童の学力向上へ向けた課題協議・解決への企画・立案の場とする。
○二学期制の特色である学びの連続性を生かすための学習体制をとり、学力向上を図る。

本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
○個に応じた指導を行う。 ○朝の「全校算数タイム」「全校読書タイム」を活用する。特に「全校算数タイム」では、能力別のグループをつくり、それぞれの学習課題に取り組むようにする。 ○夏季休業中に学習教室を実施する。	○火曜日・金曜日の始業前に全校算数タイム「全校読書タイム」を設定し、算数・国語の基礎的・基本的能力の育成を図る。 ○個に応じた指導のため少人数指導を算数で展開し、2～6年生で実施する。	○「自分の考えをもち、伝え合い、学び合う子ども」を主題にコミュニケーション能力を高める研究を進める。 ○授業観察の共通の視点を定め授業を検証する。 ○相互に磨き合う姿勢で研究に臨み、全教員が研究授業を行う。	○月末毎に児童による自己評価を実施し、学習や生活習慣の改善を図る。 ○二学期制の特色を生かし、児童個々の学習・行動状況を多面的にとらえ、指導と評価の一体化を図る。 ○毎時間の授業計画をたてるにあたり評価項目を明確にし、実践において的確に児童の活動について評価できるよう研修を行う。	○夏季休業中の個人面談を通して、個に応じた課題について保護者と共通理解を図る。 ○学校公開日や「滝六まつり」等の行事を通して、保護者・地域の方々と共に教育活動を行う。 ○保護者による読み聞かせの会を設け、児童への読み聞かせを行う。

平成21年度 第2学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

北区立滝野川第六小学校

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
話をききとる、漢字を書く、文章を書くのすべてにおいて、区の平均を上回っている。 漢字は全員満点であった。 文章を書くことにおいても、よくできている。	国語への関心、意欲、態度も高い。 書く能力、言語についての知識・理解・技能もよくできる。 文章の読み取りに関しては、若干劣る。	国語への関心、意欲、態度は高い。 書く能力、言語についての知識・理解・技能もよくできる。 しかし、説明文などの文章の読み取りに関しては、力不足である。
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
数のおおきさくらべ、ひきざんにおいてはほぼ出来ている。 100までのかず、足し算、足し算引き算の問題、長さくらべ、かたちについては課題が残る。	算数への関心、意欲、態度、数学的な考え方、数量や図形についての表現、処理、図形についての知識、理解については課題が残る。	数のおおきさくらべ、ひきざんはほぼできている。 100までのかず、足し算、足し算引き算の問題、長さくらべ、かたちについては課題が残る。 算数の関心、意欲態度、および数学的な考え方、数量や図形についての表現、処理、知識、理解については課題が残る。

平成21年度 第3学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
文章を書く能力が非常に高く、ほとんどの児童が自分の考えを文章で表すことができる。 2年生までの漢字の読みについては、よく理解できる。 物語の読み取りや、話の内容の聞き取りについては、課題が残る。	国語への関心・意欲・態度は高い数値を示した。 言語についての知識・理解・技能についても、ほとんどの児童がよく理解できている。 書く能力に関しては非常に高い能力がある。 読む能力については、課題が残った。	書く能力についてはしっかりと力がついており、言語についての知識理解もおおむね満足できる。 話の要点を聞き取ることや、物語や説明文の読解力については、課題がある。
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
どの単元についてもよく理解できている。 たし算の筆算やかけ算九九については、高い理解が見られる。 時計の読み取りや長さのところでは、理解が不十分なところがある。	どの観点についても高い正答率を示しており、よく理解できている。 観点としては、算数への関心・意欲・態度や数量や図形についての知識・理解で比較的正答率が低い。	どの分野についてもよく理解できている、中でも、基本的な計算や、図形についての理解はしっかりしている。 時計の読み取りや長さの単元の基本の理解が不十分である。

平成21年度 第4学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
7つある項目のうち、6つは区の平均正答率を超えている。「作文」のみ、下回っている。期待正答率と比べると、「作文」、「説明文を読み取る」、「国語辞典と反対の言葉」が下回っている。「話し合いの内容を聞き取る」は、期待正答率を大きく超えている。	「話す・聞く能力」は、6割以上の児童が100%の正答率であり、9割ほどの児童が期待正答率を超えている。クラス平均正答率が、期待正答率を下回っている「書く能力」でも、6割以上の児童が期待正答率を上回っている。	中心点となる語や文をとらえて、段落相互の関係を考えたり、国語辞典をもっと活用したり、相手や目的に応じて適切に書いたりする力を伸ばす必要がある。漢字の読み書きは個人差が大きく、学習方法を吟味する必要がある。
社 会		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
7つある項目のうち、2つは区の平均正答率を超えている。「学校のまわりの様子」、「町の地図の見方」、「市の様子」、「店で働く人」は、期待正答率を下回っている。「消防署の仕事」は期待正答率を10点以上も上回っている。教科全体としては期待正答率を上回っている。	クラス平均では期待正答率を下回っているが、「社会的な思考・判断」と、「観察・資料活用の技能・表現」では、それぞれ半数以上の児童が期待正答率を上回っている。	工夫について考えることや、資料をもとに判断する力が弱い。資料を活用しながら学習を進めていき、資料活用能力や社会事象の知識についての力を高める必要がある。
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
10ある項目のうち、2つは区の平均正答率を超えている。5つは期待正答率を超えている。たし算、ひき算、かけ算、わり算等、計算は期待正答率を超えているが、いろいろな考え方で解く問題や、時間、かさ、形等が下回っている。	「わり算」は、全員が期待正答率を上回っているか同程度であり、十分習熟していると考えられる。「いろいろな考え方で解く問題」は、期待正答率を上回っている児童が半数より少ない。	文章題の図示の仕方を理解する力が弱い。時間の計算、はかりの目盛りの読み取り、形の弁別など、単元での学習だけでなく、日常生活で意図的に使っていたり、算数的な活動を行うことで力をつけていく必要がある。
理 科		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
8つある項目のうち、3つは区の平均正答率を超えるか同じかしている。4つは期待正答率を超えるか同じかしている。「植物の育ち方」のポイントが低く、平均を下げ、4教科中唯一、教科全体として期待正答率を下回ってしまった。	「電気の通り道」は、9割ほどの児童が期待正答率を上回っており、十分に習熟している。「植物の育ち方」は、半数以上が下回っている。得点が高い児童でも、すべての観点で期待正答率を上回っているという児童はいなかった。	植物の育ち方、昆虫の育ち方、日なたと日かげ、太陽の動きのポイントが低いのは、観察力が弱いからであると考えられる。生活にも密着し、遊びにもなる電気、磁石はよくできている。

平成21年度 第5学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
「話し合いの内容を聞き取る」「物語・説明文の内容を読み取る」「漢字を読む・書く」については概ね理解しているが、個人差がある。 文の構成(修飾語)やローマ字は、期待正答率を下回っている。 「作文」は、相手や目的に合わせて適切に書くことが不十分である。	「国語への関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」においては、概ねできているが、個人差がある。 「言語についての知識・理解技能」面では、ローマ字、修飾語についての理解力が不十分である。	全体的に国語への関心があり、物語や説明文の読み取りはよくできる。 漢字を書くことや作文で相手や目的に合わせて書くことが苦手である。
社 会		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
「ゴミのしまつと利用」「くらしをささえる水」「昔のくらしの様子」「伝統工芸」についてはよく理解している。 「安全なくらし・交通事故」は、必要な種類の資料を選択することが不十分である。 「地形図の見方」では、地形の標高から断面図に表す力が不得意である。	「社会的な思考・判断」「社会的事象についての知識・理解」は期待正答率を上回っている。 「観察・資料活用の技能・表現」は、概ね理解しているが、交通事故を防ぐ警察の取り組みや地形からの標高をとらえて断面図に表すことが極端に期待正答率を下回っている。	社会に必要なグラフや資料の読み取り、世の中の事象について理解しているが、個人差が大きい。 単なる知識として暗記するにとどめず、身近な社会と照らし合わせ、様々な方法で資料の活用をする力が不足している。
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
全体として「割り算」「三角形と角の大きさ」「面積」「折れ線グラフと表」「計算のきまり」は、期待正答率を大きく上回っているが、個人差がある。 「億と兆」「割り算」「円と三角形」は、概ね理解している。 「概数の表し方」「分数」の大小比較では、理解が不十分である。	「算数への関心・意欲・態度」「数学的な考え方」「数量や図形についての表現・処理」「数量や図形についての知識・理解」は、全体的に概ね理解できている。	基本的な計算や数量・図形などは、理解できているが、個人差が大きく、期待正答率を下回るものもある。
理 科		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
「電気のはたらき」「水のあたたまりかた」「水のすがたの変わり方」においては、期待正答率を大きく上回っている。 「1年間の植物の成長」「1年間の動物のようす」「月と星」については、期待正答率を下回っている。	「科学的な思考」「観察・実験の技能・表現」については、期待正答率を大幅に上回っている。 「自然事象への関心・意欲・態度」は、概ね理解できている。	内容別の結果から、「1年間の植物や動物の成長」について季節感を感じながらそれらの成長を考えることが不十分であった。 「月や星」の動きも理解が不十分であった。

平成21年度 第6学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会)結果の内容別・観点別の分析

国 語		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
「物語の内容を読み取る」と「漢字を読む」ことについては区の平均を上回っている。 「漢字を書く」ことについては、全体の到達率が50%をきってしまっており、区の平均と比べて大幅に下回っている。 作文でも3割近くの児童が無答のまま回答している。	「読む能力」については、区の平均を上回っていたが、その他の項目では区の平均を下回っている。 「書く能力」では、区の平均よりも約13%低い結果となっている。 「話す・聞く能力」についても、区の平均と比べ、約10%低い結果となっている。	文章の読み取りについてはまずまずできていたが、漢字を書くことに課題が多い。 話を聞き取る力についても課題が多い。 作文など書くことについても、進んで取り組めない(書けない)児童が少なくない。
社 会		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
全体としては区の平均を上回っている。 内容別に見ると、「日本の水産業・食料生産・工業地域」「自動車をつくる工業」「わたしたちの生活と情報・国土と気候」では区の平均を上回っている。 「日本の農業」では区の平均を若干下回っている。	全ての項目で、区の平均を上回っていた。 「社会的事象への関心・意欲・態度」については全体として80%を超えていた。 「観察・資料活用の技能・表現」については、区の平均を若干上回っていたものの、個々の差が大きかった。	教科に対する関心・意欲・態度や、学習内容に対する理解について、全体としてはおおむね良好といえる。 資料活用の能力や、思考・判断に関する項目については、個人差が大きい。
算 数		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
「小数のと整数のしくみ」は、4問中3問について期待正答率をかなり下回っている。 「数と計算」の問題でも、小数倍の正答率が低い。 「分数と小数」の問題は期待正答率を上回っている。 「百分率とグラフ」では、帯グラフの割合を読み取り、人数を求める問題の正答率が低い。	どの観点も区の平均と比べると低い。 「算数への関心・意欲・態度」については期待正答率を上回った児童が9名いる。 「数量や図形についての表現・処理と知識・理解」について期待正答率を上回った児童は半数の7名である。 「数学的な考え方」については、期待正答率を上回った児童は3名である。	小数のしくみや、単位変換については正答率がかなり低く、習熟していないと考えられる。 「数学的な考え方」では、分配法則を用いた計算と割合の問題における正答率が低い。 平行四辺形の面積を求める問題で、底辺と高さの位置を正確につかめない児童がいる。
理 科		
内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
全体としては区の平均を上回っている。 「植物の発芽と成長」「植物の受粉」「顕微鏡の使い方」「てこのはたらき」「もののとけかた」では区の平均を上回っている。 「天気の変化・気温」「流れる水のはたらき」「おもりを使った実験」では区の平均を下回っている。	「観察・実験の技能・表現」と「自然事象についての知識・理解」については区の平均を上回っている。 「自然事象への関心・意欲・態度」と「科学的な思考」については区の平均を下回っている。 どの観点についても個人差が大きい。	「もののとけかた」のように区の平均を10%以上上回っていた項目もある。 内容によって理解の定着にばらつきが見られる。 「自然事象についての関心・意欲・態度」については、とても高い児童とそうでない児童が見られ、課題である。

現 第6学年 平成20年度 第5学年「児童・生徒の学力向上を図るための調査」(東京都教育委員会) 結果の観点別の分析

観点別結果の分析	授業改善の視点	具体的な授業改善案
<p>問題を発見する力・・・正答率は約7割。複数の資料から必要な情報を読み取ることに課題のある児童もいる。</p> <p>見通す力・・・正答率は約5割。結果を見通す力に課題のある児童が半数程度いる。</p> <p>適用・応用する力・・・4問中、学級全体の平均正答数は2.2問であった。地図上に示された情報の読み取りや、話し合いの進め方を考える問題に課題がある。</p> <p>意思決定する力・・・正答率は約5割。複数の条件をふまえて考えることに課題のある児童が半数程度いる。</p> <p>表現する力・・・正答率は約7割。説明する内容を整理することに課題のある児童もいる。</p>	<p>複数の資料を読み取る指導の工夫</p> <p>結果を予想する力を育てる指導の工夫</p> <p>話題を明確にした話し合いと、振り返りの場の設定、地図上の情報を読み取る指導の工夫</p> <p>複数の条件を読み取り、複合的に考える指導の工夫</p> <p>順序よく話す力を育てる指導の工夫</p>	<p>教科の学習の中で資料の比較を行い、共通点や差異点を探したり、そこから読み取ったことを話し合わせたりする場を設ける。</p> <p>理科の実験などで予想を立てさせる際に必ず根拠をもった予想をさせ、その予想と根拠について子どもたち同士で話し合わせたりする場を設ける。</p> <p>単にスピーチや話し合いの場を設けるだけでなく、日頃から、話題を明確にし、それに沿って順序をふまえた話し方や話し合いができるよう指導していく。</p> <p>等高線や方位等の読み取り方を復習する。また、社会や算数の指導の中で、複数の資料を読み取り、共通する条件を見出したり、それをふまえて類推されるものの傾向をつかむなどの指導を行う。</p>